

駅伝都大路、男子26位、女子17位

2025年12月21日、冬の京都・都大路を舞台に「女子第37回・男子第76回 全国高等学校駅伝大会」が開催された。

午前10時20分にスタートした女子では、大分東明は1区で1年生の福嶋円嘉（普通1年）が27位と健闘し流れをつかみ、2区25位、3区22位、4区22位と徐々に順位を上げ、5区でアンカーの瀧川ゆめ（普通3年）が5人を抜き去り、昨年の39位から大きく躍進する17位でフィニッシュした。

一方、男子は1区でエースの豊川滉大（普通3年）が18位と好スタートを切り、2区の平野遥斗（普通1年）が14位に順位を上げ、その後も粘りを見せ最後のトラックでの争いも制して26位でゴールした。

大会自体も雨というコンディションの中、男子で学法石川が大会新記録、女子長野東が惜しくも大会記録に及ばすながら好記録で大会連覇を果たすというハイレベルな大会となった。

その中で大健闘した大分東明は、女子は1年生も多く、男子も奥村監督の1期生が躍動した今年の経験を活かし、来年の更なる飛躍を感じさせる大会となった。



テレビの前で応援してくださった保護者の皆様、温かいご声援、ありがとうございました！